接合 版 第 4 月かた元気で突動かられるまうづく) 疾病院 等すの持名者自特別 無失	事務事業名		合志市各種大会等出場助成事業						マニフェスト 全庁横断 関連 に関連 マニフェスト マニフェスト マニフェスト マニフェスト マニフェスト				□ 集中	□ 集中改革 プラン関連		
	総合	Ĺ	政		4	みん	な元気で笑顔	負あふれるま	ちづくり		所属	部 教育委	員会事務局教育			
子葉科目		. —														幸治
***	体并	1	基ス	<b>本事業</b>					)			/				H .
本学研事	予算科目								5市部活動	协各種	重大会等出場	補助金交付要			話果! ⑥	
事業の内容	終了、開始年度				22年度	で終了 [	□ 22年度かり	う開始 事業	<b></b>	単年			区(開始年度 (			
事業の内容	<b>★</b> :	<b></b> 「 彩	雪	業の根	要 (	旦 体 自	りかやり方	手順 詳	細、期間限	定複数年	E度!	事業は全体	(像を記述)			
(明治した発表) からは、素酸を変圧し学校の移送物以外の経過を企画を変更数な学を行し、学校の部活動のみへの特別を実施する。 (まつかけったのでの のでき) 報告 (1000円 九川・沖縄を称く図画) 1000円 カー 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		【事業の内容】														
次表記との主張	/ BB 1	.A. 1	J1	k 目	増加  から	してい は、要	る。特に、バ 綱を改正し学	レーボール、  校の部活動じ	バスケット:  外の担当窓	ボール、 コを企画目	柔道、 は耐診	.剣道等の九 異へ移行Ⅰ	,州大会や全国 学校の部活動	国大会に出場し カのみへの補助	っている。 hを実施っ	。平成22年度   する。【事業
日					の内	の内容】児童生徒がスポーツ大会や文化活動を通して、心身ともに健やかな成長が図られるよう、小中学校の児童生徒で組 📙										
接換 全部平成22年度から比小中学校の部活動として出場する場合の分積動																
【重な子育費目 補助金 【意見や変写】 (保護者からはお礼の言葉が寄せられている。 )					泊費	全額	平成22年度か	らは小中学校	での部活動と	して出場で	する場	場合のみ補助	l	37 0 31 3	777-12-50	(XZX 11
意見や要望  保護者からはお礼の言葉が寄せられている。	【学	美務	(O)	流れ】	申請	受付、	補助金交付決	:定、請求支払	い事務、大会	会参加確認	忍(多	実績報告)、	補助金精算事	務		
意見や要望  保護者からはお礼の言葉が寄せられている。																
意見や要望  保護者からはお礼の言葉が寄せられている。																
関係者作民、議会 業別が多名、制造図 信者等)からとんな 変見や電型が寄せられているか? 現状把腿の部(DO、PLAN) ①手段手裏の目的と指標 ②中度 実績(22年度)行った主な活動)(00) 小中学校における部局が体育を場合である場合にあり、(00) 小中学校における部局が体育の場合である場合に、大会等への出場に要する経費を制成した。 ②対象・課、何を対象にしているのか) 米人や自然資源等 現大会以上の大会に参加する児童生徒数 ②対象・課、何を対象にしているのか) 米人や自然資源等 現大会以上の大会に参加する児童生徒数 ②対象・課、何を対象にしているのか) 米人や自然資源等 現大会以上の大会に参加する児童生徒数 ②対象・課、何を対象にしているのか) 米人や自然資源等 現大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の 経済的負担を経滅する。 ※ ③成果指標設定の理由 ② 22年度 22年度 22年度 22年度 22年度 22年度 22年度 22	【主	なー	予算	費目】	補助:	<b>金</b>										
事業特条 利等機	【意	5見	. P.	要望】	保護	者から	はお礼の言葉	が寄せられて	こいる。							
(野市等からとんなきと見や実好等を出ているか?)  1 現状把握の部(D O、P L A N) (1)事務事業の目的と指標 (1)手段(上な活動) 20年度実験(20年度に行った主な活動) (DO) (1)中学校にお店動) 30年度実験(20年度に行った主な活動) (DO) (2)年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) (2)年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) (2)年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) (2)年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) (2)年度 (中緒中報) 14年 補助金総額 3、1665千円 (現立の大会に参加する原産生徒数																
登入中央部の部 (DO、PLAN)																
現状把握の部 (DO、PLAN)	意見	中里	要望	が寄せ												
(1) 手段 接来 楽の目的と指標					·	D.C.	D. 7. 4.3.7.\									
① 手段(主法活動) 22年度未練 22年度 12年度 12年度 12年度 12年度 22年度 23年度 23年度 23年度 25年度 12年度 の推移 ア 人 5,172 5,262 5,316 5,334 5,495 5,614 5,614 22		_					PLAN)			<del> </del>	坦。	₩ 本 区 \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				1
小中学校における部活動が体育連盟等が主権する各様大会において、県大会以上の大会等へ出博する場合に、大会等への出場に要する経費を助成した。申請件数 14件 補助金総額 3,065 円 7 県大会以上の大会に参加する児童生徒数 人 7 7 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							『(22年度にそ	Tった主か活	動)(DO)	+			まに計画して	いろ主か活動	h) (PLAN	)
た。申請件数 14件 補助金総額 3.065千円  ① 活動指標(手務事業の活動量を表土指標) (単位) (単位) (大会以上の大会に参加する児童生徒数 人) (単編大会以上の各種大会等に出場する児童生徒の保護者 (大会以上の各種大会等に出場する児童生徒の保護者 (大の企業を表す) (大学の児童生徒 (大学の) (大学の児童生徒 (大学の)																,
① 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) (単的 子葉の主な増減の理由 ) (単 子葉の主な増減の理由 ) (単 子葉の主な増減の理由 ) (単	会以	上	のオ	会等へ	出場す	る場合	に、大会等/		する経費を助	成し						
②対象信託、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	1=0	44	胡竹	F女X 14	*1 <del>***</del>	即少亚亚	で合共 3,00	NTD		!						
②対象信託、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等				,-,						<del>-</del>	<del></del>					
②対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 県大会以上の各種大会等に出場する児童生徒の保護者 ③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 経済的負担を軽減する。 ※ ③ 成果指標と変の理由と23年度 目標値設定の根拠 本事業の補助を受けた児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒の事 本事業の補助を受けた児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち 本事業の補助を受けた児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち 本事業の補助を受けた児童生徒の事を成果指標とした。 (2) 各指標・総事業費											算の	主な増減の	理由			
県大会以上の各種大会等に出場する児童生徒の保護者  ②意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 県大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の 経済的負担を軽減する。 *** ②成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 県大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。  (2) 各指標・総事業費	$\Rightarrow $	<u>-</u>	<b>ポノ</b>	スカリ	.の人:	云に多	加りる元里日	上1疋致	ا   ا	<u>^</u>						
県大会以上の各種大会等に出場する児童生徒の保護者  ②意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 県大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の 経済的負担を軽減する。 *** ②成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 県大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。  (2) 各指標・総事業費	②\$	· ·象	(誰	何を	対象に	してし	ハスのか)*	人や自然資	<u>-</u> 順笑	2	対象	指煙(対象の	り大きさを表	・		(単位)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 果大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の ・*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 果大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、果大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のする児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、果大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。  (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) 実績(決算) 実績(決算) 目標(当初予算) 予定 見込  ① 活動指標 ア 人 140 270 140 206 140 140 140 140 206 140 140 140 140 140 140 140 140 140 140	<u> </u>		( , , ,	–				,	//11 / 1		ア			. / 10 100/		人
③意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)  果大会以上の大会に参加する経費の一部を補助することにより、保護者の 総済的負担を経滅する。 ※③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 県大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のする児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。  (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) 実績(決算) 実績(決算) 専標(当初予算) 予定 見込  ① 活動指標 ア 人 140 270 140 206 140 140 140 140 140 270 140 206 140 140 140 140 140 140 140 140 140 140			_							i⇒	イ					
経済的負担を軽減する。 **③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 県大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。  (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) 呈4年度 22年度 23年度 月込込 140 270 140 206 140 140 140 140 140 140 140 140 140 140										3	成果					(単位)
**(3)成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 県大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち 本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。 (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) <sub>目標</sub> (当分算) 実績(決算) <sub>日標</sub> (当分算) 学定 見込 ① 活動指標 ア 人 5.172 5.262 5.316 5.334 5.495 5.614 5.614 ② 対象指標 ア 人 5.172 5.262 5.316 5.334 5.495 5.614 5.614 ② 対象指標 ア 人 5.172 5.262 5.316 5.334 5.495 5.614 5.614 ② 対象指標 ア 人 5.172 5.262 5.316 5.334 5.495 5.614 5.614 ※ 計画	県大経済	会的	以上 色报	この大会 日を軽減	に参加 する	する経	<b>怪費の一部を</b> 神	補助すること	により、保護	者の  →	ア	県大会以上の	)大会に参加し	/、補助を受け	た児童生	〔徒の率¦%
果大会以上の大会に参加する児童生徒がどの程度いるかの予測は不可能であるため、県大会以上の大会に参加した小中学校の児童生徒のうち本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。  (2) 各指標・総事業費 単位 実績(決算) 日標(当初予算) 実績(決算) 日標(当初予算) 実績(決算) 日標(当初予算) 実績(決算) 日標(当初予算) 実績(決算) 日標(当初予算) 実績(決算) 日標(当初予算) 大変 見込 予定 見込 予定 見込 予定 見込 お象指標 ア 人 140 270 140 206 140 140 140 140 140 140 140 140 140 140						d 1, 00	左连旦捶法	11. 中の担制			1					
本事業の補助を受けた児童生徒の率を成果指標とした。   20年度									の予測け不可	*************************************	ナめ	. 県大全以	トの大会に参	加した小山学	校の児童	生徒のうち
の推移     単位     実績(決算)     主標(決算)     主標(治列子算)     実績(決算)     主標(治列子算)     手定     見込       ① 活動指標     ア 人     140     270     140     206     140     140     140       ② 対象指標     ア 人     5,172     5,262     5,316     5,334     5,495     5,614     5,614       ③ 成果指標     ア 外     100     100     100     100     100     100     100     100       事 源     地方債     千円     その他     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       大     費     (A) 事業費計     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       人     (A) 事業費計     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       人     (A) 事業費計     千円     0     0     0     0     0     0     0       人     正規職員従事人数     人     2     3     3     3     3     3     3     3     3     2     2     2     2     2     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3									~> 1 /XIIO~[14]	יייי רמאים	,_0,	、	ニッハムに学	いこうには十十	人マノノし生	KW 7 3
の推移     単位     実績(決算)     主標(決算)     主標(治列子算)     実績(決算)     主標(治列子算)     手定     見込       ① 活動指標     ア 人     140     270     140     206     140     140     140       ② 対象指標     ア 人     5,172     5,262     5,316     5,334     5,495     5,614     5,614       ③ 成果指標     ア 外     100     100     100     100     100     100     100     100       事 源     地方債     千円     その他     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       大     費     (A) 事業費計     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       人     (A) 事業費計     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       人     (A) 事業費計     千円     0     0     0     0     0     0     0       人     正規職員従事人数     人     2     3     3     3     3     3     3     3     3     2     2     2     2     2     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3     3														П	11	
				<ul><li>総事業</li></ul>	<b>達費</b>	単位										
① 活動指標 イイ 5,172 5,262 5,316 5,334 5,495 5,614 5,614 (2) 対象指標 ア 人 5,172 5,262 5,316 5,334 5,495 5,614 5,614 (2) 対象指標 ア % 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1			- 12		ア	٨										
(2) 対象指標 イ		1	活動	動指標		<u> </u>	1	270	140			140	140			
T   P   P   P   P   P   P   P   P   P		2	対象	象指煙	ア	人	5, 172	5, 262	5, 316	5,	334	5, 495	5, 614	5, 614		
Tame			\J ≥	×1□/示												
国庫支出金 千円   財都道府県支出金 千円   押間限   大円   水道府県支出金 千円   水道府県支出金 千円   水道府県支出金 千円   水砂		3	成身	果指標	ア	%	100	100	100		100	100	100	100		
財				国庫支	出金	千四										1 /2
事源     地方債     千円       大     業     緑入金     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       大     費     (A) 事業費計     千円     2,071     3,166     1,700     3,065     2,000     2,000     2,000       (A) 事業費計     千円     0     0     0     0     0     0     0       (A) 事業費計     千円     0     0     0     0     0     0     0       (A) のうち時間外、特朗     千円     0     0     0     0     0     0     0       人工規職員従事人数     人     2     3     3     3     3     3       (B) 人件費計     千円     1,240     1,289     796     1,417     824     824     824		E	<b>計</b> 者													/
投業 課	I	事 》	原			+									期	/
量		P	勺 -												間に	/
量     (A)のうち時間外、特朗 千円     0 </td <td>投身</td> <td><b>美</b></td> <td>尺</td> <td>繰入</td> <td>金</td> <td></td> <td>2, 071</td> <td>3, 166</td> <td>1, 700</td> <td>3, (</td> <td>065</td> <td>2, 000</td> <td>2, 000</td> <td>2, 000</td> <td>定</td> <td>/</td>	投身	<b>美</b>	尺	繰入	金		2, 071	3, 166	1, 700	3, (	065	2, 000	2, 000	2, 000	定	/
量     (A)のうち時間外、特朗 千円     0 </td <td></td> <td><b></b></td> <td></td> <td><b></b></td> <td>複</td> <td>/</td>												<b></b>		<b></b>	複	/
量     (A)のうち時間外、特朗 千円     0 </td <td>入</td> <td>ŧ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>3,</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>  数  </td> <td>/</td>	入	ŧ							-	3,					数	/
人     正規職員従事人数     人     2     3     3     3     3     3     3     3     200	_		_					_	-		-	_		_	度	
性 延べ業務時間 時間 310 324 200 344 200 200 200 載 費 (B) 人件費計 千円 1, 240 1, 289 796 1, 417 824 824 824		-						0						_	み	
費 (B) 人件費計 千円 1, 240 1, 289 796 1, 417 824 824 824		- F					L	3) 221							記	/
(27) (11) (11) (12) (13) (14) (15)															載	/
トータルコスト(A) + (B) 千円   3,311   4,455   2,496   4,482   2,824   2,824   2,824   1   1							3, 311	4, 455	2, 496		_	2, 824	2, 824	2, 824		0

2 評価の部 (SEE)

	本原則は22年度の事後評価、たた	し 複数年度事業は22年度美績を踏まえての途中評価	
	①22年度目標達成度評価	☑達成した	□達成しなかった ⇒【原因 5
目標達4	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成 したか、未達成の場合その原因は?		
双度評価	②23年度目標達成見込み	図目標達成見込みあり⇒【理由】 「 市内小中学校に周知できているため。	□目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 □
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見 込みはついているのか?		
	③成果の向上余地		☑向上余地がない ⇒【理由 写
有効性評価	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	全国大会での遠方への参加は保護者にとって 、補助金額の引き上げることだか、市の財政 小の方向にならざるを得ないので成果向上余	7状況を考慮すると現状維持又は補助金の縮
	<ul><li>④類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	図他に手段がある〜 (具体的な手段、事務事業) □統廃合・連携ができる ⇒【理由】〜 図統廃合・連携ができない ⇒【理由】〜	□他に手段がない ⇒【理由 写
	目的を達成するには、この事務事業以外他に 方法はないか?類似事業との統廃合ができる か?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?	平成22年度から個人参加については企画財政 参加補助については、学校からの事務処理の	
	⑤事業費の削減余地	☑削減余地がある ⇒【理由】50	□削減余地がない ⇒【理由 57
効率性評	成果を下げずに事業費を削減できないか? (佐 様や工法の適正化、住民の協力など)	予算額が限られており、出場者の増加により の全額補助から半額補助への引き下げは検討	、現在の経費(交通費・宿泊費・運搬費)
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	□削減余地がある ⇒ 【理由】 「 業務を遂行する時間分の人件費は必要最低	☑削減余地がない ⇒【理由 写 限である。
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできない。 (アウトソーシングなど)	?	
公平	⑦受益機会・費用負担の適正化余 地	□見直し余地がある →【理由】「◎	
平性評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公 ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	義務教育の一環として対象者は小中学生であ 版の意味合いもあり受益者負担は適当でない	
役割	⑧行政の役割分担の適正化		□役割分担は適正である ⇒【理由】 □
割分担評価	事業事務のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行できないか?	本市独自の補助事業であるため移行できな! *	い。 
0	□	※車数車業会体の振り返り 出用及び巨火点	· k/x - 2 = 1 = 1

評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

今年度は、例年になく補助金の申請者が多く、周知も徹底されていることを実感できた。来年度は、学校の部活動への補助のみを学校教育課が担当し、個人出場分の担当課は企画財政課へ変更するが、周知不足で誤って以前の担当課である学校教育課に申請書を提出される保護者もいることが想定されるため、当面は、周知も兼ねて、学校教育課でも移行先の申請書で受け付けることが必要と思われる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)							
(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		改善に。					
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善(有効性改善)	(廃止・休止の場合は記入不要)						
□事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善) □事業のやり方改善(公平性改善)		コスト					
□現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	```	削減	維持	増加			
	向上						
	成果維持		0				
	<sup>未</sup> 低下						
(3)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策							